

# 医師少数区域、医師多数区域、 医師少数スポットの設定について

熊本県健康福祉部

# 1 区域設定による影響

# 医師偏在指標（暫定値）及び国の基準に基づく区域の設定

## 医師偏在指標【暫定値】

	上位33.3%
	下位33.3%

厚生労働省の基準に基づき設定

二次医療圏名	医師偏在指標	全国順位	医師多数/少数区域
全国平均	238.6	-	-
熊本県全体	252.2	14	多数
熊本・上益城	339.5	18	多数
芦北	223.0	80	多数
八代	204.0	109	多数
有明	179.4	166	-
鹿本	167.8	202	-
菊池	166.7	207	-
球磨	165.6	212	-
天草	157.7	238	少数
宇城	145.2	269	少数
阿蘇	139.4	292	少数

地域の実情に応じて、県が医師少数スポットを設定可能

（全国：47都道府県、335二次医療圏）

（厚生労働省提供資料（H31.4.1）を基に熊本県医療政策課作成）

## 医師確保計画における医師多数県の取扱い

本県は医師偏在指標(暫定値)における都道府県順位が14位となり、上位33.3%に含まれることから、「医師多数県」となる見込み。

主な要因は、人口10万人対医師数が全国でも上位となるため。(全国平均238.6人、熊本県279.5人(H28))

医師多数県は、計画の終期(2023年度末)までに必要となる医師数(目標医師数)を既に達成しているものとして取り扱われるため、今後、県内の医師総数を増加させる施策は見直しが必要となる。

想定される影響は次のとおり。(下線は国の方針)

### 医師修学資金貸与制度

- ・ 将来の必要医師数に応じて、地域枠の定員見直しが必要。  
現在の臨時定員枠が減少する可能性。

### 臨床研修

- ・ 国が都道府県に募集定員を配分する際の指標に「医師少数区域の人口」が追加。  
本県に配分される募集定員数が減少する可能性。

### 地域医療介護総合確保基金

- ・ 同基金を活用した既存の取組については、規模や内容の見直しが必要。

# 医師確保計画における医師少数区域、医師多数区域等の取扱い

ガイドライン	医師少数区域 (偏在指標の下位33.3%)	医師少数でも多数でもない区域	医師多数区域 (偏在指標の上位33.3%)
目標医師数	指標の下位33.3%の基準を脱するために要する医師数	都道府県において独自に設定 各区域の合計値が現在の県全体の医師数以下となるよう設定	
施策	地域医療介護総合基金は、医師少数区域における施策に重点的に用いるべき。 修学資金貸与医師は、一定期間(4年以上等)、医師少数区域で勤務すること。		
	修学資金貸与 医師派遣	重点的に実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の実情に応じて、二次医療圏よりも小さい単位を「医師少数スポット」として定め、医師少数区域と同様に扱うことが可能。</li> <li>・ 間接的であっても、医師少数スポットの医師確保に確実に資するものであれば、医師多数区域の医療機関への施策であっても問題ない。 医師少数スポットは、島しょ・半島等の医師が少なく、かつ医療機関へのアクセスに大きな制限がある地区を想定。</li> </ul>
	寄附講座からの 医師派遣		
	自治医大卒 医師派遣		

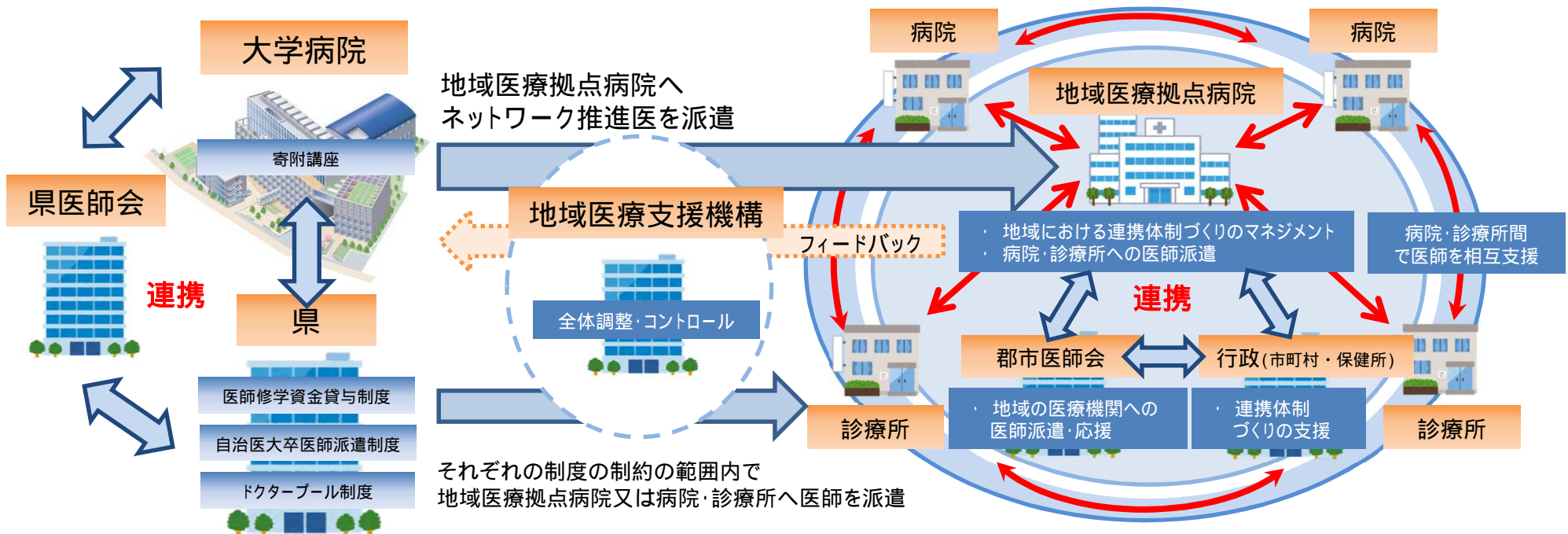
## 2 県全体の医師確保の方針及び 医師少数スポットの設定 (案)

# 県全体の医師確保の方針（案）

熊本県における地域医療や医師偏在の状況等を踏まえ、大学病院、県医師会、関係医療機関及び県がオール熊本で、地域医療を担う医師が安心して勤務しながらキャリアアップできる環境を整備することで、地域に定着する医師を増やす。

各圏域における現状や課題を十分に分析した上で、各圏域が目指す将来の地域医療の姿を見据えながら、医師確保対策を進める。

## 熊本県地域医療連携ネットワーク



## 医師少数スポット設定基準（案）

医師少数区域以外の二次医療圏であっても、へき地医療や救急医療といった政策医療を担う医師が不足する地域については、医師少数スポットとして設定し、引き続き医師の確保を図る。

医師少数スポットは、現にへき地医療及び二次救急医療を担う医療機関が存在し、かつ当該医療機関における継続的な医師確保及びそれ以外の医療機関へのアクセスが困難な地域とする。

医師少数スポットは次の(1)又は(2)を満たす医療機関の周囲4km以内とする。

なお、熊本市内には県内の医師の約6割が集中し、へき地診療所（芳野診療所）があるものの、他の医療機関へのアクセスが困難とは言えないことから、スポット設定の対象外とする。

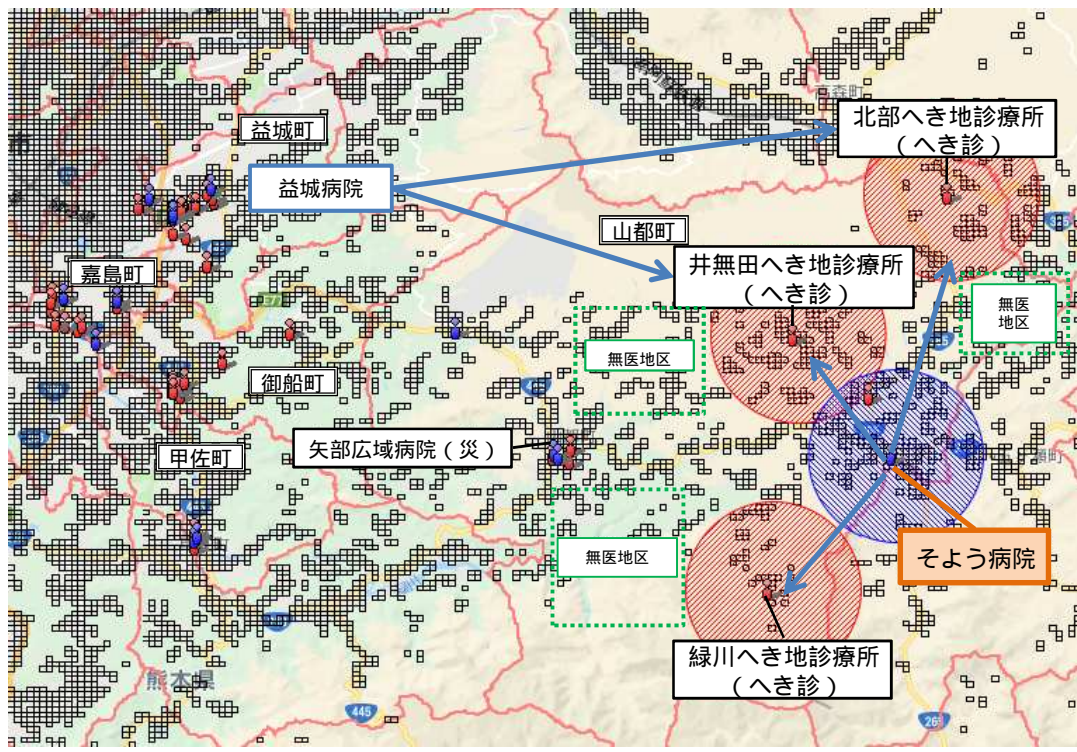
- (1) へき地診療所（へき地保健医療対策等実施要綱に定めるへき地診療所）  
へき地医療の観点
- (2) 他の二次救急病院までのアクセスに30分以上要する二次救急病院  
救急医療の観点

へき地診療所については現在の患者数を踏まえ、今後のあり方について検討が必要。



# スポット設定区域（案）【熊本・上益城圏域（上益城）】

医師多数区域



人口: 81,768人 (H31.4月現在)  
 面積: 783.96km<sup>2</sup>  
 医療機関数: 13病院、44診療所 (H31.4月現在)  
 医師数: 115人 (H28.12月現在 (医療施設従事医師数))

## 【へき地診療所の現状 (患者数はH28年度の一日当たり)】

- へき地診療所 (曜日は診療日、患者数は1日当たり)
- (1) 北部へき地診療所 (木PM (第1、3週のみ)、金PM 患者数: 13.3人)  
診療体制: 非常勤医 (全診療日)
  - (2) 井無田へき地診療所 (火PM、木 (第2、4週のみ) 患者数: 9.3人)  
診療体制: 非常勤医 (全診療日)
  - (3) 緑川へき地診療所 (月PM (第2、4週のみ) 患者数: 13.3人)  
診療体制: 非常勤医 (全診療日)

## 【二次救急医療機関の現状】

(常勤医師数はH30.7月、患者数はH29.4月～H30.3月)

圏域名	施設名	常勤医師数 (人)	救急搬送車による搬送受入患者数 (人)		他の二次救急病院へのアクセスが30分超
			常勤医一人当たり患者数 (人)		
熊本・上益城 (上益城)	山都町包括医療センター そよう病院	4	320	80	

## 【スポット設定区域】

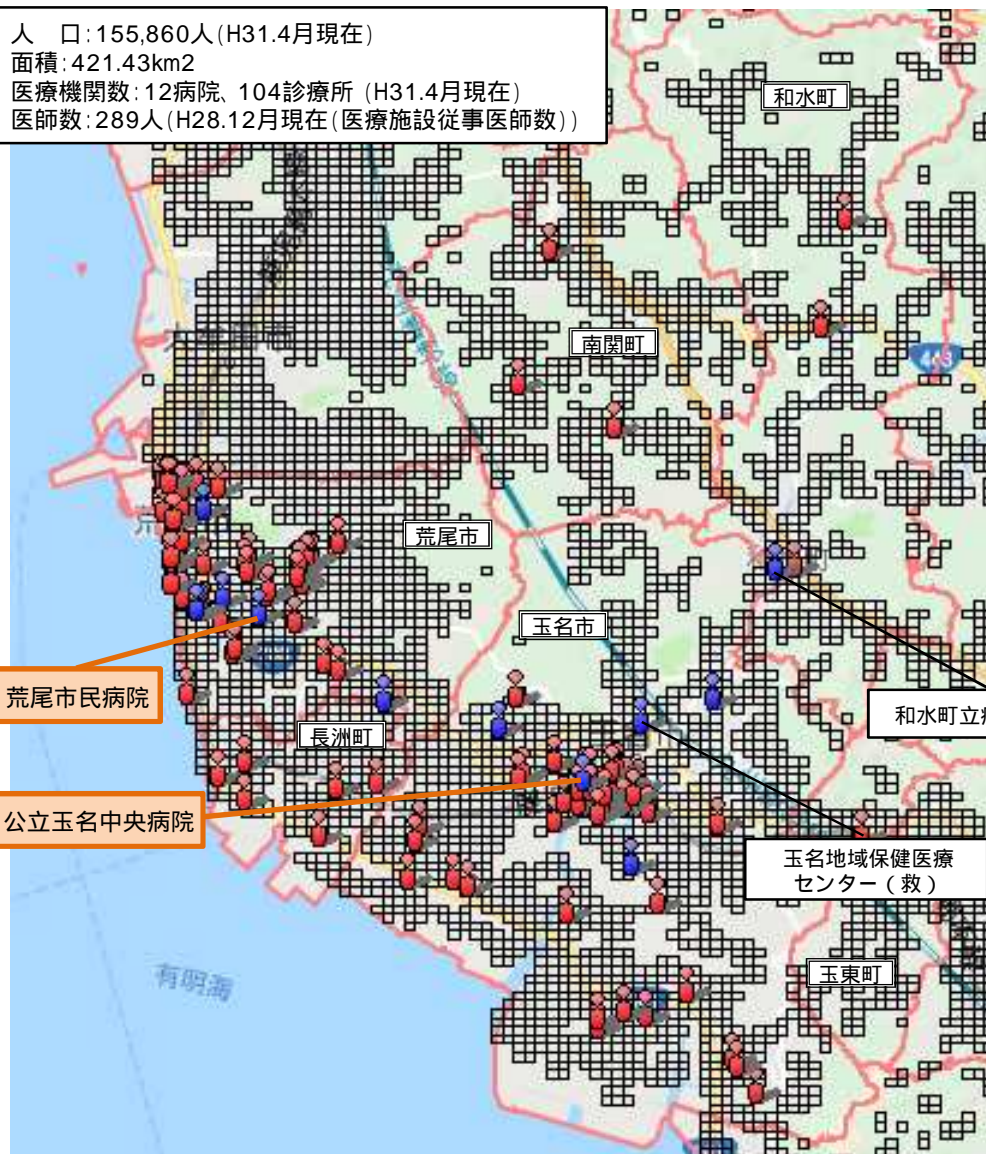
左図の赤円、青円内

赤円: 基準1に該当、青円: 基準2に該当

# スポット設定区域（案）【有明圏域】

医師少数でも  
多数でもない区域

人口:155,860人(H31.4月現在)  
面積:421.43km<sup>2</sup>  
医療機関数:12病院、104診療所(H31.4月現在)  
医師数:289人(H28.12月現在(医療施設従事医師数))



## 【二次救急医療機関の現状】

(常勤医師数はH30.7月、患者数はH29.4月～H30.3月)

圏域名	施設名	常勤医師数 (H30.7.1現在)	救急搬送車による 搬送受入患者数 (H29.4.1～H30.3.31)		他の二次救急 病院へのアクセ スが30分超
			常勤医一人 当たり患者数		
有明	公立玉名中央病院	70	2,531	36	
	荒尾市民病院	49	1,860	38	
	和木町立病院	4	140	35	
	玉名地域保健医療センター	8	144	18	

## 【スポット設定区域】

なし

(基準に該当する地域なし)

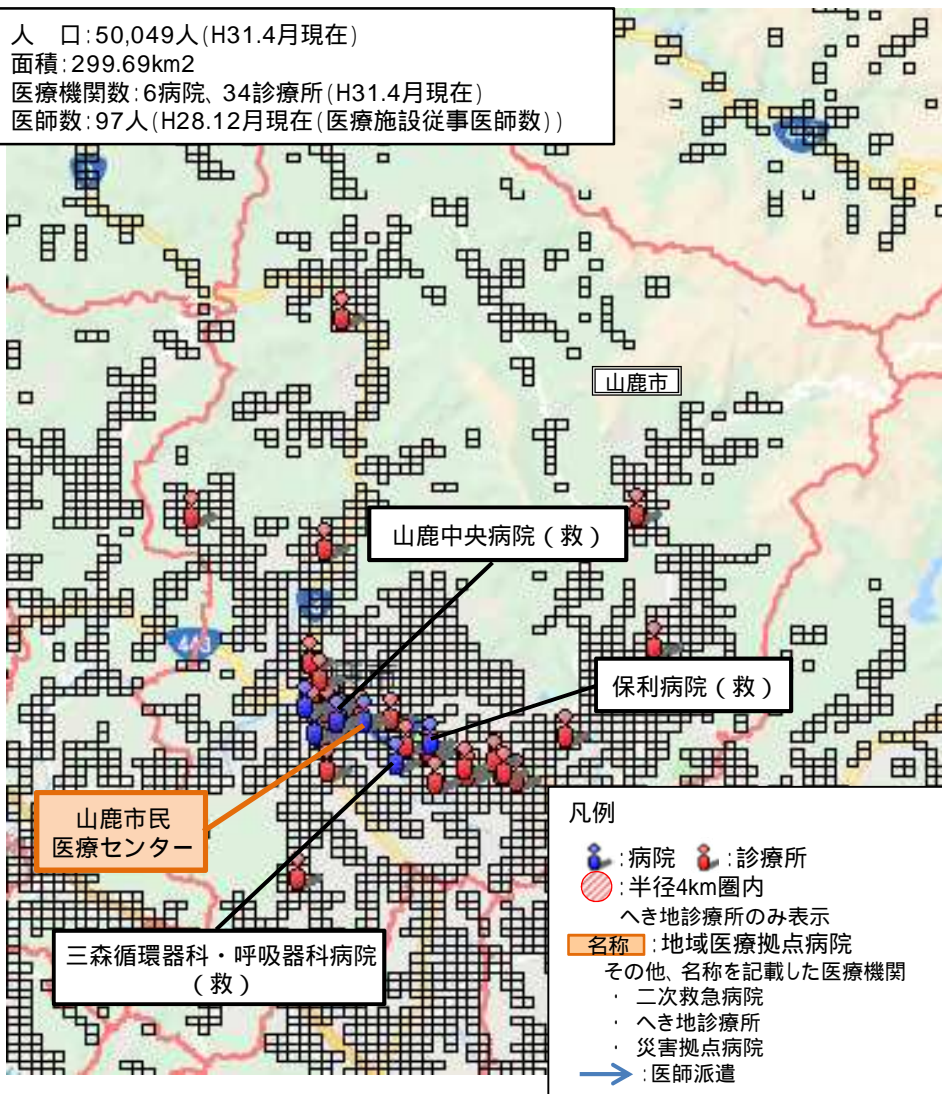
### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 半径4km圏内  
へき地診療所のみ表示
- 名称 : 地域医療拠点病院  
その他、名称を記載した医療機関
  - ・ 二次救急病院
  - ・ へき地診療所
  - ・ 災害拠点病院
- : 医師派遣

# スポット設定区域（案）【鹿本圏域】

医師少数でも  
多数でもない区域

人口: 50,049人 (H31.4月現在)  
面積: 299.69km<sup>2</sup>  
医療機関数: 6病院、34診療所 (H31.4月現在)  
医師数: 97人 (H28.12月現在 (医療施設従事医師数))



## 【二次救急医療機関の現状】

(常勤医師数はH30.7月、患者数はH29.4月～H30.3月)

圏域名	施設名	常勤医師数 (H30.7.1現在)	救急搬送車による 搬送受入患者数 (H29.4.1～H30.3.31)		他の二次救急 病院へのアクセ スが30分超
			常勤医一人 当たり患者数		
鹿本	山鹿市民医療センター	27	1,004	37	
	山鹿中央病院	12	359	30	
	保利病院	6	512	85	
	三森循環器科・呼吸器科病院	2	108	54	

## 【スポット設定区域】

なし  
(基準に該当する地域なし)

# スポット設定区域（案）【菊池圏域】

医師少数でも  
多数でもない区域

人口:184,878人(H31.4月現在)  
面積:466.6km<sup>2</sup>  
医療機関数:16病院、111診療所(H31.4月現在)  
医師数:322人(H28.12月現在(医療施設従事医師数))






【二次救急医療機関の現状】  
(常勤医師数はH30.7月、患者数はH29.4月～H30.3月)

圏域名	施設名	常勤医師数 (H30.7.1現在)	救急搬送車による 搬送受入患者数 (H29.4.1～H30.3.31)		他の二次救急 病院へのアクセ スが30分超
			常勤医一人 当たり患者数		
菊池	熊本再春医療センター	44	1,566	36	
	川口病院	7	670	96	
	熊本セントラル病院	28	854	31	
	菊池中央病院	7	161	23	
	菊陽台病院	5	80	16	
	熊本リハビリテーション病院	23	289	13	
	菊池都市医師会立病院	9	302	34	
	岸病院	1	9	9	

## 【スポット設定区域】

なし  
(基準に該当する地域なし)

凡例

-  : 病院
-  : 診療所
-  : 半径4km圏内  
へき地診療所のみ表示
-  名称 : 地域医療拠点病院  
その他、名称を記載した医療機関
- ・ 二次救急病院
- ・ へき地診療所
- ・ 災害拠点病院
-  : 医師派遣

# スポット設定区域（案）【八代圏域】

医師多数区域

【へき地診療所の現状(患者数はH28年度の一日当たり)】

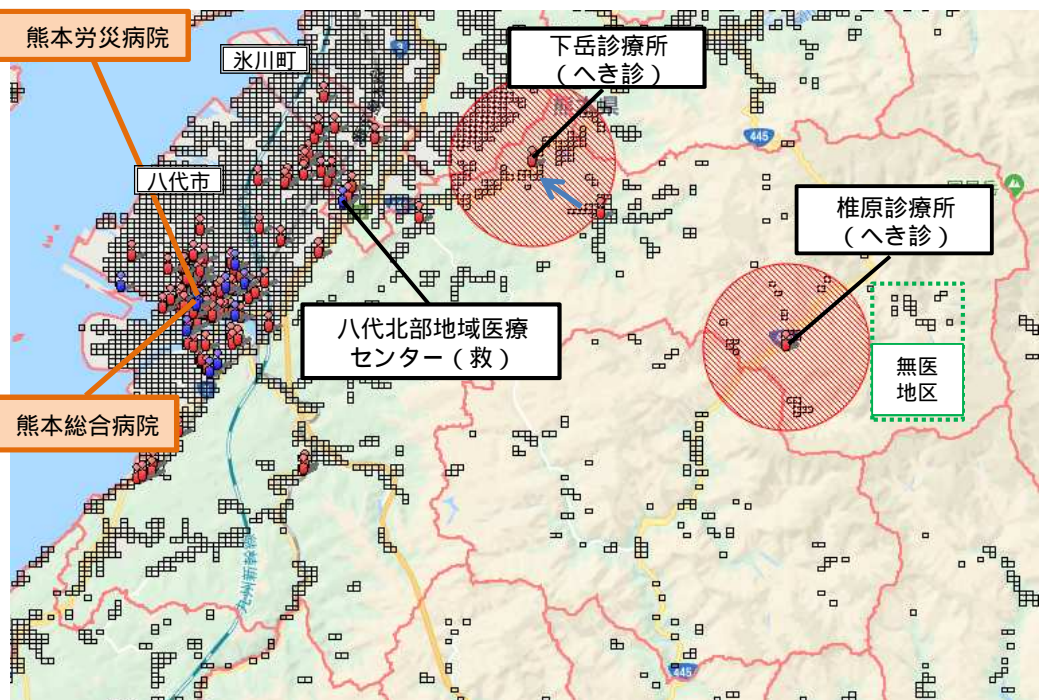
へき地診療所（曜日は診療日、患者数は1日当たり）

- (1) 下岳診療所（火、金 患者数:24.0人）  
診療体制：非常勤医（全診療日）
- (2) 椎原診療所（月～木 患者数:11.0人）  
診療体制：常勤医（全診療日）

【二次救急医療機関の現状】

（常勤医師数はH30.7月、患者数はH29.4月～H30.3月）

圏域名	施設名	常勤医師数 (H30.7.1現在)	救急搬送車による 搬送受入患者数 (H29.4.1～H30.3.31)		他の二次救急 病院へのアクセ スが30分超
			常勤医一人 当たり患者数		
八代	熊本労災病院	87	3,815	44	
	熊本総合病院	62	2,782	45	
	八代北部地域医療センター	4	105	26	



人口:135,446人(H31.4月現在)  
面積:714.72km<sup>2</sup>  
医療機関数:11病院、109診療所(H31.4月現在)  
医師数:318人(H28.12月現在(医療施設従事医師数))

- 凡例
- : 病院
  - : 診療所
  - : 半径4km圏内  
へき地診療所のみ表示
  - 名称** : 地域医療拠点病院  
その他、名称を記載した医療機関
    - ・ 二次救急病院
    - ・ へき地診療所
    - ・ 災害拠点病院
  - : 医師派遣

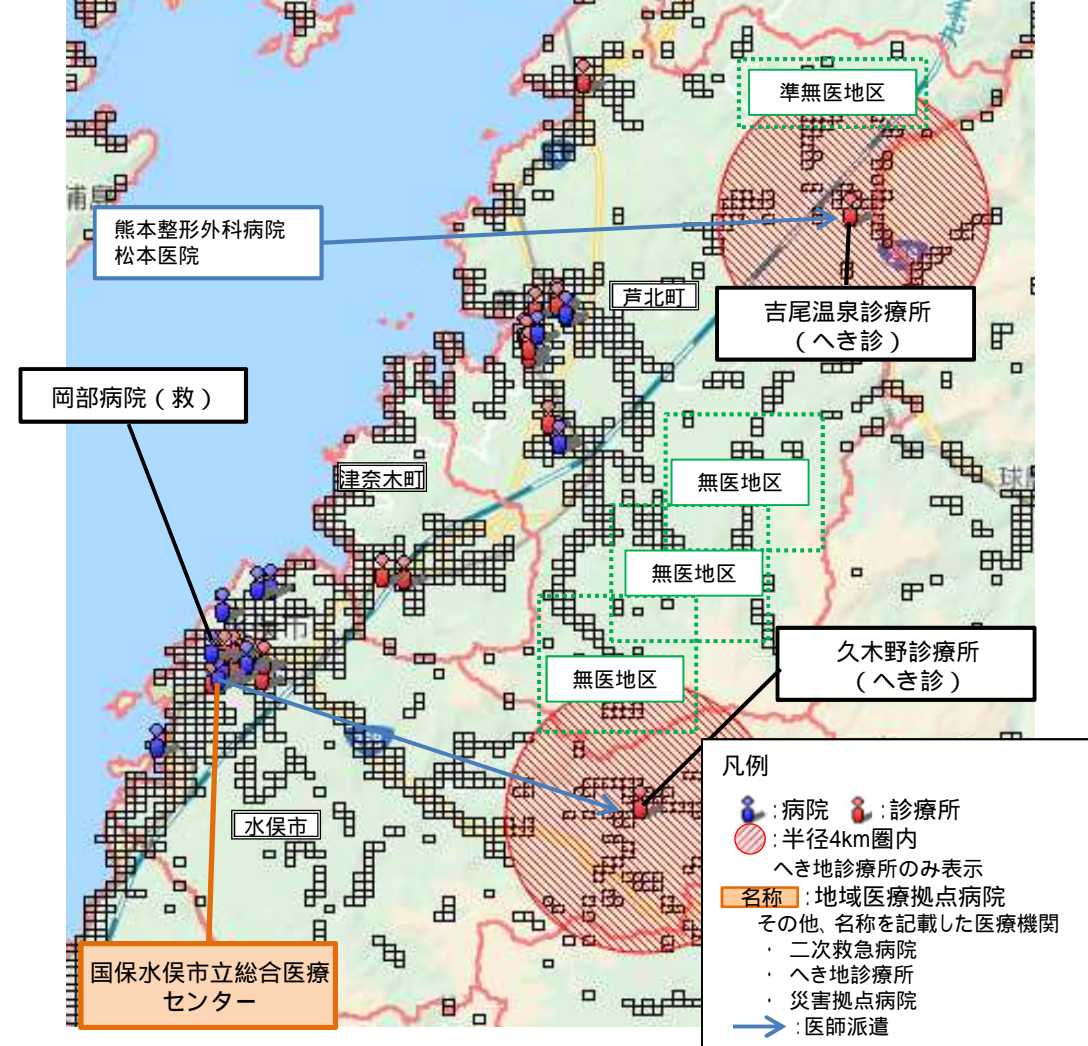
## 【スポット設定区域】

左図の赤円内  
赤円:基準1に該当

# スポット設定区域（案）【芦北圏域】

医師多数区域

人口: 44,714人 (H31.4月現在)  
 面積: 431.36km<sup>2</sup>  
 医療機関数: 11病院、31診療所 (H31.4月現在)  
 医師数: 136人 (H28.12月現在 (医療施設従事医師数))



## 【へき地診療所の現状 (患者数はH28年度の一日あたり)】

- へき地診療所 (曜日は診療日、患者数は1日あたり)
- (1) 吉尾温泉診療所 (火、水PM 患者数: 8.9人)  
 診療体制: 非常勤医 (全診療日)
  - (2) 久木野診療所 (火AM、金AM 患者数: 9.0人)  
 診療体制: 非常勤医 (全診療日)

## 【二次救急医療機関の現状】 (常勤医師数はH30.7月、患者数はH29.4月～H30.3月)

圏域名	施設名	常勤医師数 (H30.7.1現在)	救急搬送車による 搬送受入患者数 (H29.4.1～H30.3.31)		他の二次救急 病院へのアクセス が30分超
			常勤医一人 当たり患者数		
芦北	国保水俣市立 総合医療センター	49	1,393	28	
	岡部病院	6	108	18	

## 【スポット設定区域】

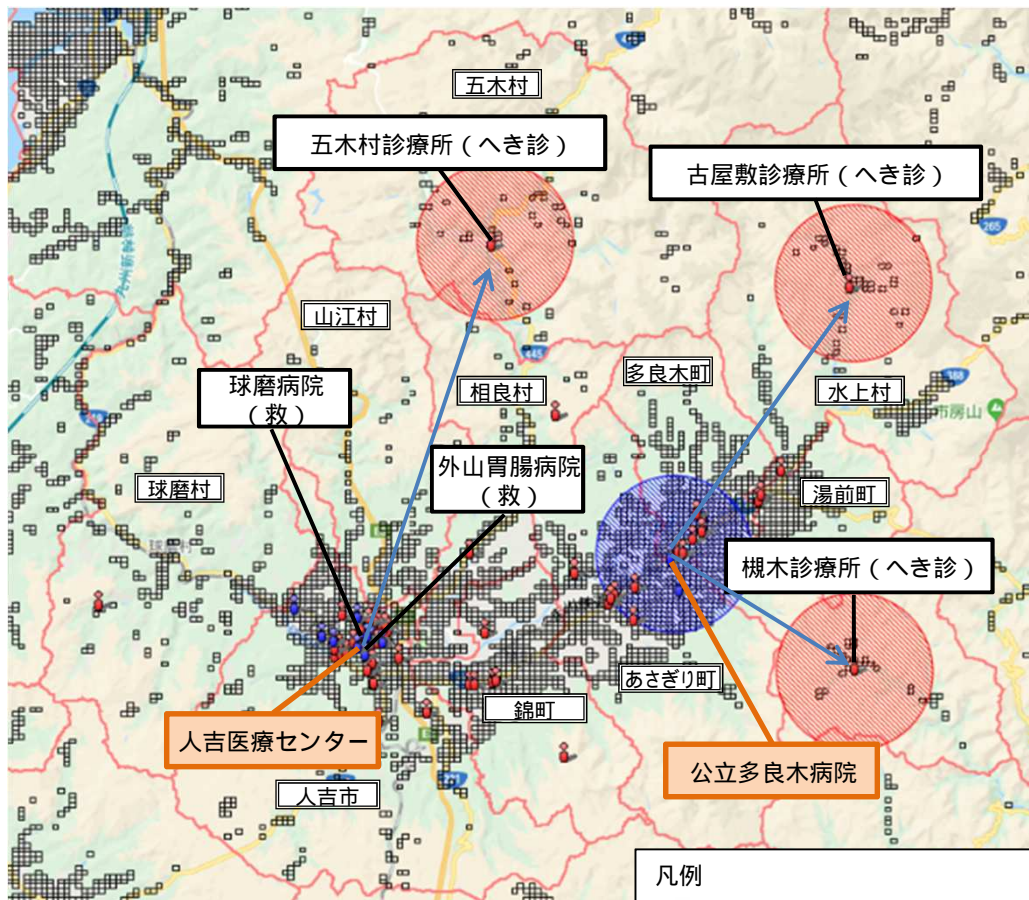
左図の赤円内  
 赤円: 基準1に該当

凡例

- : 病院 ●: 診療所
- : 半径4km圏内
- : へき地診療所のみ表示
- 名称: 地域医療拠点病院
- その他、名称を記載した医療機関
  - ・ 二次救急病院
  - ・ へき地診療所
  - ・ 災害拠点病院
- : 医師派遣

# スポット設定区域（案）【球磨圏域】

医師少数でも  
多数でもない区域



人口: 83,952人(H31.4月現在)  
面積: 1536.57km<sup>2</sup>  
医療機関数: 13病院、62診療所(H31.4月現在)  
医師数: 176人(H28.12月現在(医療施設従事医師数))

- 凡例
- : 病院
  - : 診療所
  - : 半径4km圏内
  - : へき地診療所のみ表示
  - : 名称: 地域医療拠点病院
  - その他、名称を記載した医療機関
    - ・ 二次救急病院
    - ・ へき地診療所
    - ・ 災害拠点病院
  - : 医師派遣

## 【へき地診療所の現状(患者数はH28年度の一日あたり)】

### へき地診療所(曜日は診療日、患者数は1日あたり)

- (1) 槻木診療所(火PM、金PM(第1~4週)患者数:5.3人)  
診療体制: 非常勤医(全診療日)
- (2) 古屋敷診療所(月PM、水PM(第1~4週)患者数:2.0人)  
診療体制: 非常勤医(全診療日)
- (3) 五木村診療所(月、火、木、金 患者数:34.0人)  
診療体制: 非常勤医(全診療日)

## 【二次救急医療機関の現状】

(常勤医師数はH30.7月、患者数はH29.4月~H30.3月)

圏域名	施設名	常勤医師数 (H30.7.1現在)	救急搬送車による 搬送受入患者数 (H29.4.1~H30.3.31)		他の二次救急 病院へのアクセ スが30分超
			常勤医一人 当たり患者数		
球磨	人吉医療センター	53	2,962	56	
	球磨郡公立多良木病院	14	1,024	73	
	外山胃腸病院	4	435	109	
	球磨病院	10	160	16	

## 【スポット設定区域】

左図の赤円、青円内

赤円: 基準1に該当、青円: 基準2に該当